

2025年3月期 第3四半期
決算説明資料

共英製鋼株式会社

(東証プライム：5440)

2025.1.31

- 1 決算ハイライト
- 2 2025年3月期 第3四半期決算報告
- 3 2025年3月期 通期業績予想
- 4 トピックス

1

決算ハイライト

2

2025年3月期 第3四半期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

4

トピックス

■ 2025年3月期 第3四半期累計実績

- ・ 売上高 2,404億円、経常利益 99億円（前年同期比 増収減益）
- ・ 出荷量 231万トン（前年同期比 +5万トン）
国内：109万トン、海外：122万トン
- ・ 国内鉄鋼事業は出荷量が前年同期を下回り、前年同期対比減収減益
海外鉄鋼事業は出荷量が前年同期対比増加しており、赤字幅も縮小

■ 2025年3月期 通期業績予想

- ・ セグメント間の変更はあるものの、全体としては売上高・営業利益・経常利益
当期純利益とも前回予想から変更なし
- ・ 年間配当予想に変更なし 1株当たり90円（中間 30円、期末 60円）

1

決算ハイライト

2

2025年3月期 第3四半期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

4

トピックス

2025年3月期 第3四半期 業績

3Q累計で前年同期対比増収も、減益

米国拠点の2023年8月の火災事故に係る保険金と

カナダ拠点の新型コロナウイルス助成金を特別利益として3Q累計で35億円計上

期間：2024年4月1日～12月31日

	単位	2024年3月期				2025年3月期				増減	
		1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	対前期3Q	対前期累計
売上高	億円	766	789	820	2,375	783	827	794	2,404	▲ 26	+29
										▲3.2%	+1.2%
営業利益		49	51	48	147	31	28	38	97	▲ 10	▲ 51
										▲21.3%	▲34.2%
経常利益		49	51	49	149	39	23	38	99	▲ 11	▲ 50
										▲22.8%	▲33.4%
当期純利益		39	39	37	116	26	24	41	91	+4	▲ 24
										+9.7%	▲21.0%

セグメント別業績概要

- 国内鉄鋼事業：前年同期対比減収減益ながら、メタルスプレッド拡大により高い利益水準を維持
- 海外鉄鋼事業：カナダ拠点は好調だが、ベトナムの競争環境が激化し市況が下落、3Q累計では赤字継続
- 環境リサイクル事業：売上高、利益ともに前年同期と同水準を維持

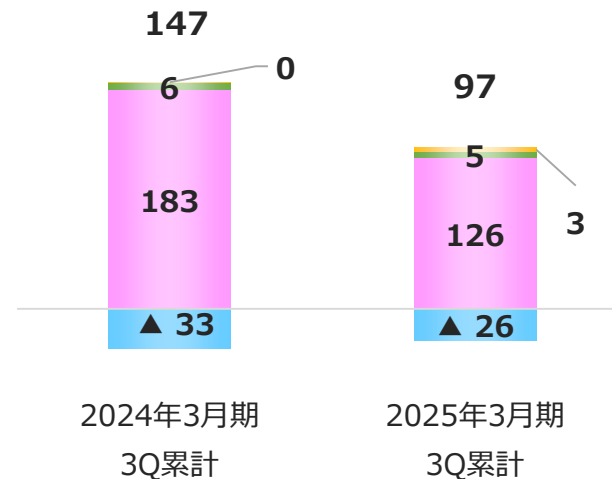
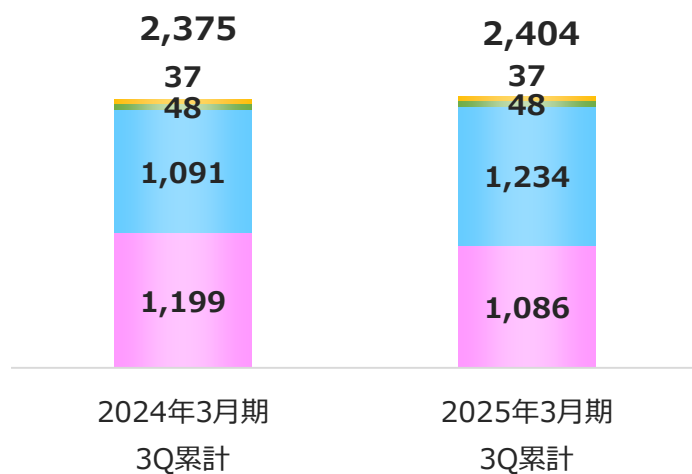
売上高 (億円)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
国内鉄鋼事業	418	384	398	1,199	382	347	357	1,086
海外鉄鋼事業	320	378	393	1,091	371	452	411	1,234
環境リサイクル事業	16	15	16	48	17	15	16	48
その他事業	12	12	12	37	13	13	10	37
合計	766	789	820	2,375	783	827	794	2,404

営業利益 (億円)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
国内鉄鋼事業	62	62	59	183	47	32	47	126
海外鉄鋼事業	▲ 13	▲ 10	▲ 10	▲ 33	▲ 18	2	▲ 10	▲ 26
環境リサイクル事業	3	1	2	6	3	0	2	5
その他事業	0	▲ 0	0	0	1	1	1	3
合計	49	51	48	147	31	28	38	97

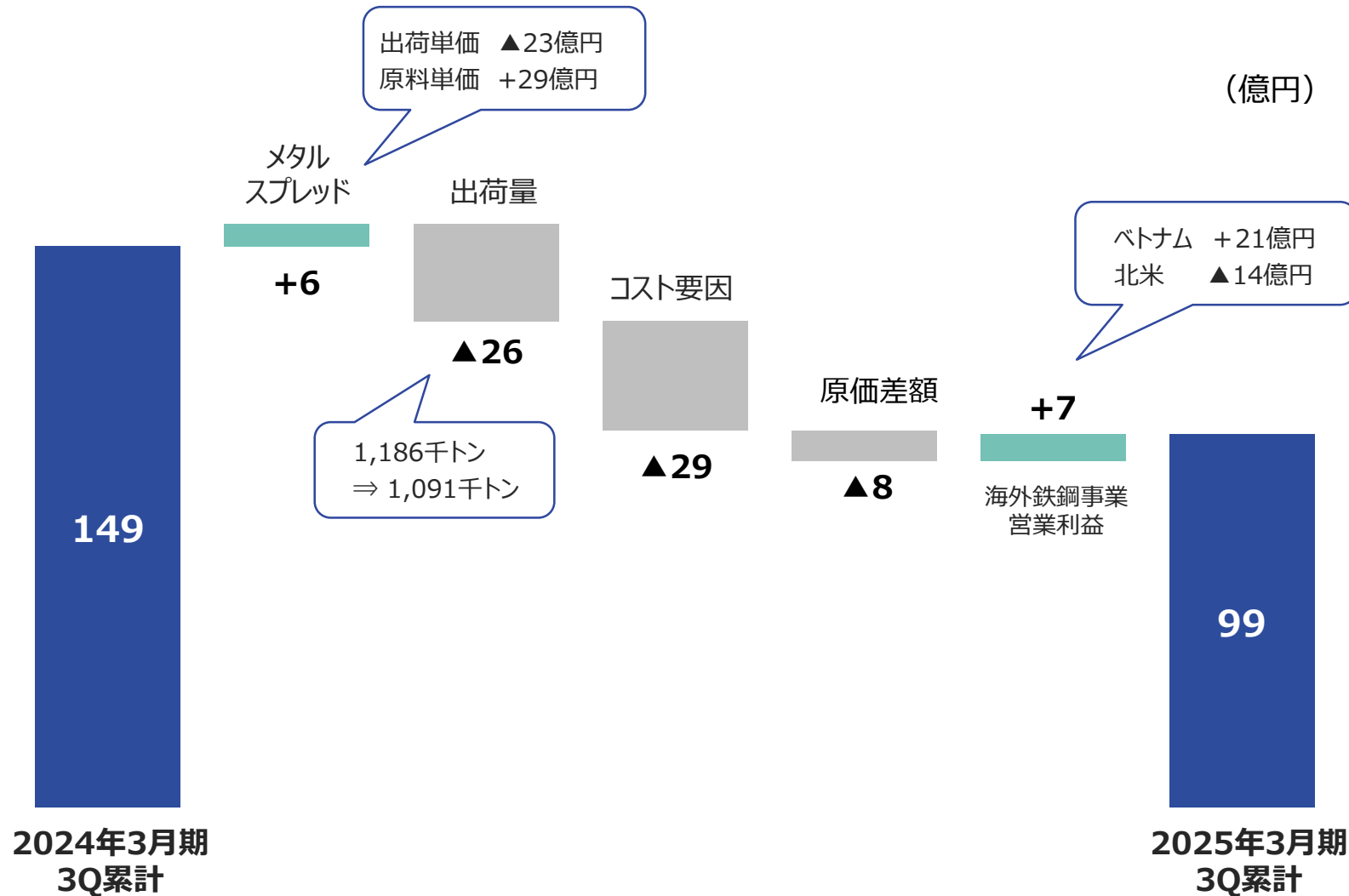
※ 営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因 (前年同期対比)

2025年3月期 3Q累計の経常利益が 前年同期対比50億円減少した要因



- ・ 3Q累計の出荷量は、建設現場の人手不足や猛暑による工期遅延・長期化の影響を受け前年同期を下回るも、概ね想定通り
- ・ 国内外の鉄鋼需給の緩みにより想定以上にスクラップ価格が下落する中、製品価格の維持に努め、3Qのメタルスプレッドは前回予想より拡大

	2024年3月期				2025年3月期				増減
	1 Q	2 Q	3Q	累計	1 Q	2 Q	3Q	累計	対前年同期 (累計)
製品出荷量 (千トン)	409	381	398	1,187	379	346	366	1,091	▲ 96 (▲8.1%)
メタルスプレッド (千円/トン)	55.5	55.3	52.5	54.4	51.6	54.6	58.8	55.0	+0.5 (+1.0%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

海外鉄鋼事業：業績概要

ベトナム南部拠点：住宅ローン金利高は落ち着きつつあるものの、ハウジング需要は依然として低調
新規顧客開拓を行うなど営業活動の強化に努め、出荷量は大きく増加

ベトナム北部拠点：中国の安価な鋼材輸出の影響を受けた競争環境の激化により製品市況が
下落したため、売買価格差の維持・拡大が困難となり、前年同期比で赤字幅拡大

ベトナム拠点 (南部・北部)

単位		2024年3月期				2025年3月期				前期対比 (3Q)		前期対比 (累計)	
		1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	193.3	207.5	236.2	636.9	208.7	296.6	258.0	763.3	+21.9	+9.3%	+126.4	+19.8%
営業利益		▲8.4	▲13.3	▲10.1	▲31.9	▲7.0	3.6	▲7.5	▲10.9	+2.6	-	+20.9	-
製品出荷量	千トン	209	235	275	719	238	329	309	875	+34	+12.3%	+157	+21.8%

米国拠点：火災事故後いち早い操業の安定化に努めたが設備トラブルが相次ぎコスト高と、製品市況の
軟化に伴う製品価格の下落によって売買価格差が縮小し、業績は低調に推移

カナダ拠点：2024年6月の金利引き下げを待った需要家による買い控えの影響を受け出荷量は減少したが
細物鉄筋の拡販を開始したことで、業績は堅調に推移

北米拠点 (米国・カナダ)

単位		2024年3月期				2025年3月期				前期対比 (3Q)		前期対比 (累計)	
		1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	143.4	172.7	165.5	481.5	164.8	160.3	155.6	480.6	▲9.9	▲6.0%	▲0.9	▲0.2%
営業利益		▲3.5	3.3	0.8	0.6	▲10.9	▲1.7	▲2.5	▲15.0	▲3.2	-	▲15.6	-
製品出荷量	千トン	109	119	125	353	118	111	113	343	▲12	▲9.6%	▲10	▲2.9%

※ 海外子会社は12月決算（期間：1月1日～9月30日） 10

1

決算ハイライト

2

2025年3月期 第3四半期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

4

トピックス

2025年3月期 通期業績予想

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を据え置き
 配当予想も据え置き

- ・ 配当方針：配当性向（連結）30～35%

	単位	2024年3月期			2025年3月期			
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減率 (対前年実績)
売上高	億円	1,555	1,654	3,210	1,610	1,620	3,230	(+0.6%)
営業利益		99	111	211	59	91	150	(▲28.8%)
経常利益		100	110	210	61	89	150	(▲28.7%)
当期純利益		79	60	138	51	69	120	(▲13.2%)

	単位	中間	期末	年間	中間	期末	年間	増減
1株当たり 配当金	円	15	75	90	30	60	90	-
配当性向	%			28.3			32.6	+4.3

※為替前提 下期 145円/\$

セグメント別業績予想

- 国内鉄鋼事業：営業利益を前回予想から上方修正
- 海外鉄鋼事業：通期は前回予想より赤字幅広がるが、下期収支均衡の見通し
- 環境リサイクル事業：営業利益は前回予想を下回る見通し

売上高

(億円)

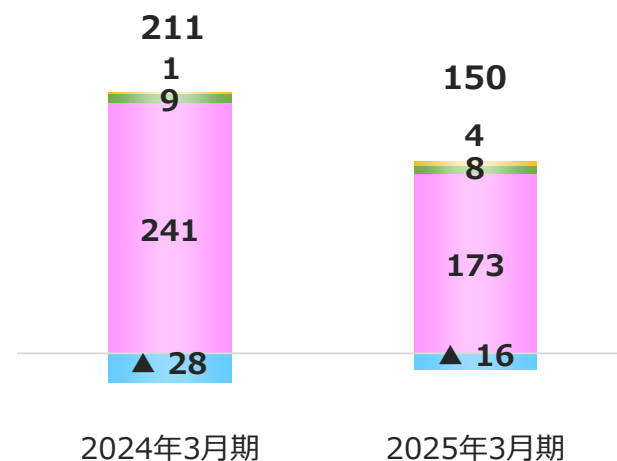
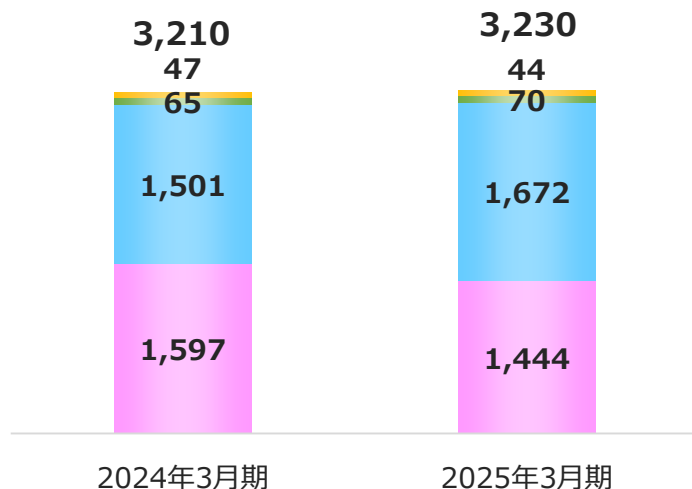
	2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内鉄鋼事業	801	796	1,597	729	715	1,444
海外鉄鋼事業	698	803	1,501	823	849	1,672
環境リサイクル事業	32	33	65	32	38	70
その他事業	24	23	47	26	18	44
合計	1,555	1,654	3,210	1,610	1,620	3,230

営業利益

(億円)

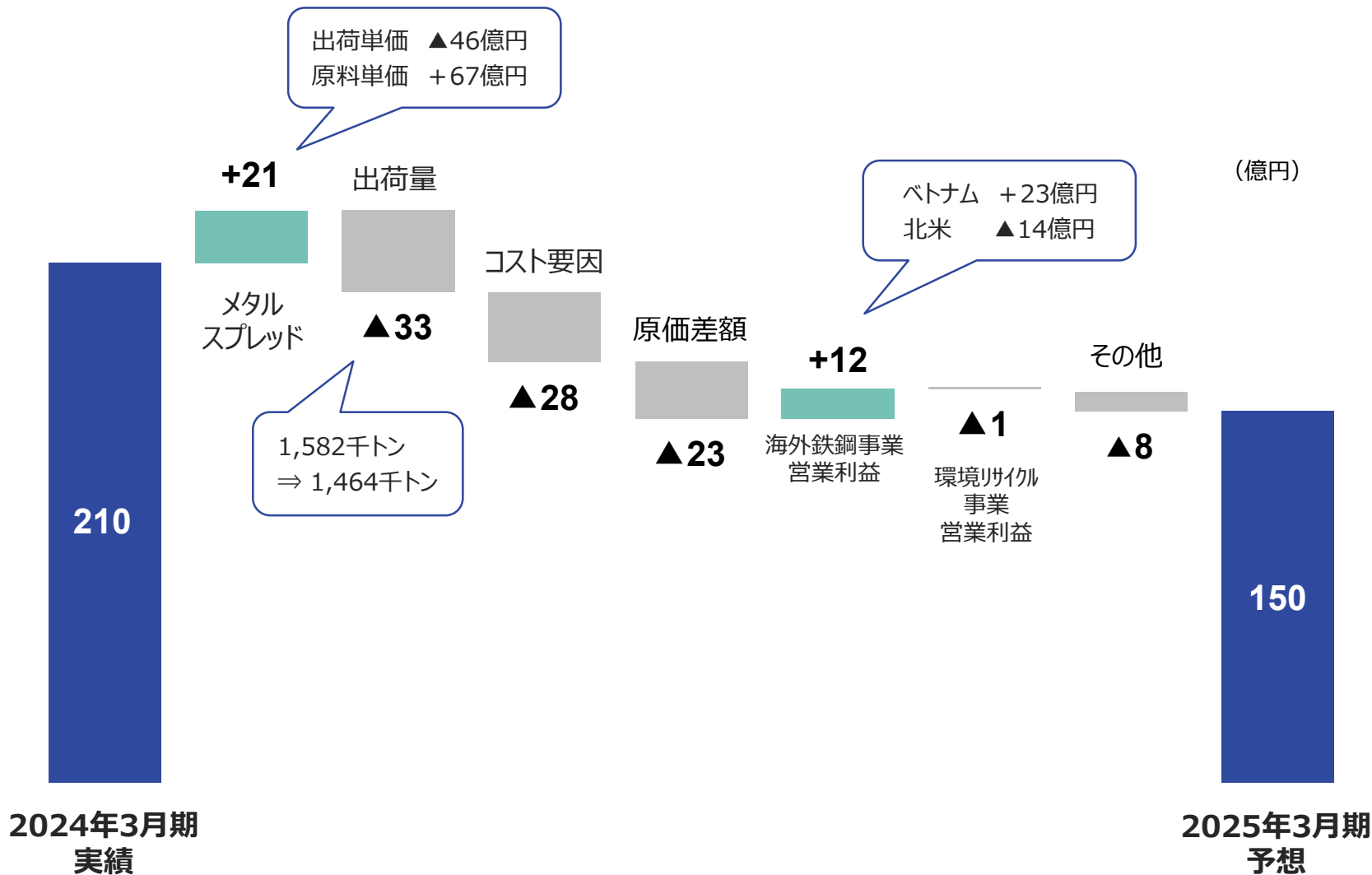
	2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
	124	117	241	79	94	173
	▲ 23	▲ 5	▲ 28	▲ 16	0	▲ 16
	4	6	9	4	4	8
	0	1	1	2	2	4
	99	111	211	59	91	150

※営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



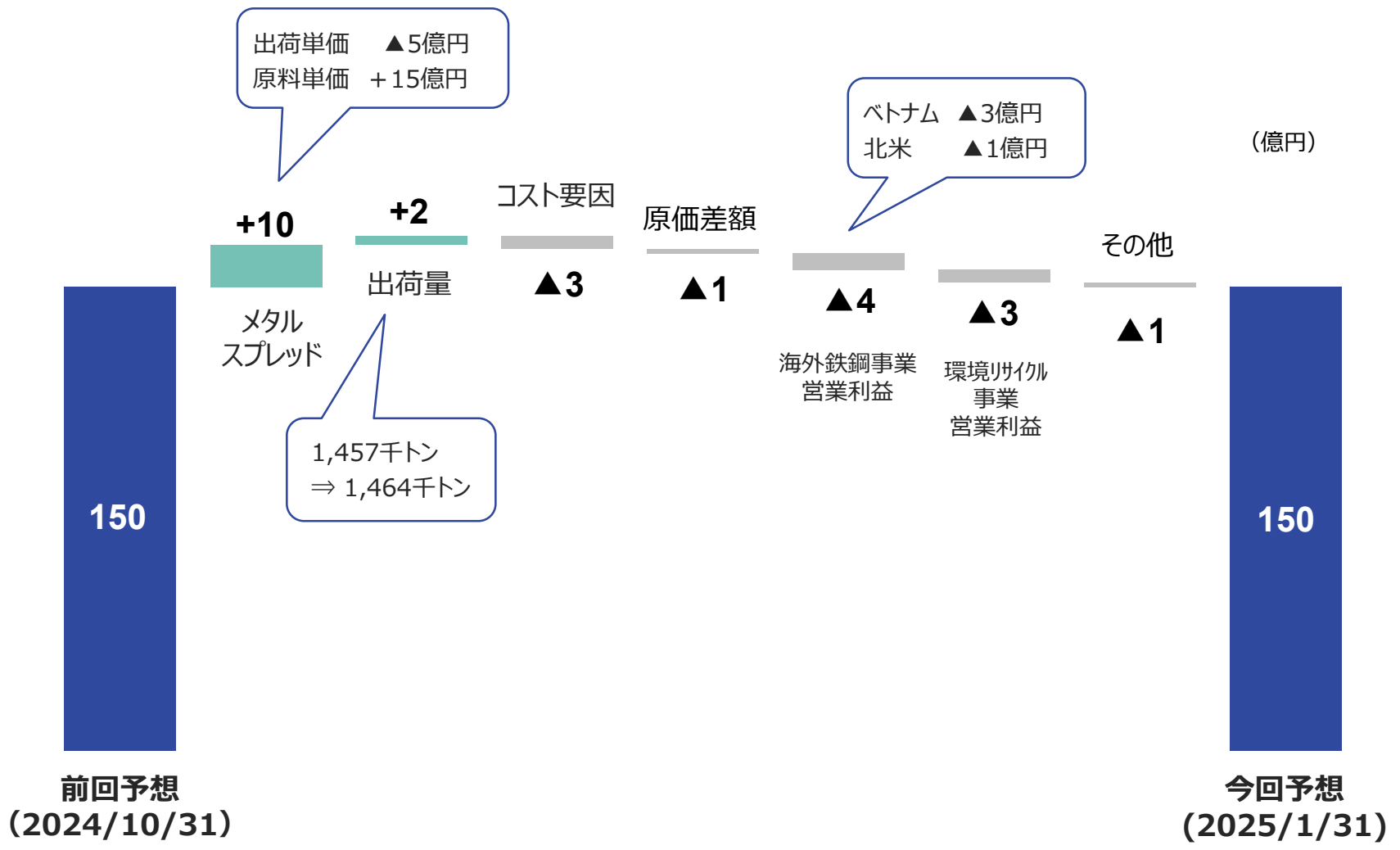
国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

2025年3月期通期の経常利益が前期実績対比60億円減少する要因



経常利益の変動要因：通期予想（前回予想対比）KYOEI STEEL

2025年3月期通期の経常利益が前回予想対比差異なしとなる要因



通期の前提数値

- ・ 出荷量は前回予想より若干増加
- ・ スクラップ市況は4Q以降も軟調で、スクラップ価格は前回予想を下回る見通し
一方、製品出荷価格は1月の値上げ発表で底打ち感を醸成、メタルスプレッドは前回予想より拡大

	2024年3月期			2025年3月期					増減	
	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	対前年同期 (下期)	対前年同期 (通期)
製品出荷量 (千トン)	789	793	1,582	725	366	373	739	1,464	▲ 54 (▲6.9%)	▲ 119 (▲7.5%)
メタルスプレッド (千円/トン)	55.4	52.4	53.9	53.1	58.8	56.3	57.5	55.3	+5.2 (+9.9%)	+1.4 (+2.7%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

海外鉄鋼事業：地域別業績予想

- ・ベトナム拠点：競合の値下げ攻勢が続き、市況は下落基調が継続する見込みも、出荷量は前期比で増加し、大幅に赤字幅縮小の見通し
- ・北米拠点：米国拠点のコスト削減策の奏功などによりトン当たり製造原価が下がり、業績は回復基調
カナダ拠点は需要は堅調であり、高水準のスプレッドに加え、細物鉄筋のエキストラ価格によるさらなるスプレッド拡大により下期（4Q）は大幅な利益増を見込む

ベトナム拠点 (南部・北部)		2024年3月期			2025年3月期			前期対比	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	単位 億円	400.7	494.1	894.9	505.3	548.7	1,054.0	+159.1	+17.8%
営業利益		▲21.7	▲13.0	▲34.7	▲3.4	▲7.9	▲11.3	+23.4	-
製品出荷量	千トン	444	577	1,021	566	654	1,221	+199	+19.5%

北米拠点 (米国・カナダ)		2024年3月期			2025年3月期			前期対比	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	単位 億円	316.0	329.6	645.6	325.0	308.7	633.8	▲11.9	▲1.8%
営業利益		▲0.2	9.1	8.9	▲12.5	7.9	▲4.7	▲13.6	-
製品出荷量	千トン	228	241	469	230	233	463	▲6	▲1.3%

※ 海外子会社は12月決算

1

決算ハイライト

2

2025年3月期 第3四半期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

4

トピックス

米国拠点 設備投資計画一部変更

変更内容・理由

生産効率性向上と直送圧延によるコスト削減のため、
既存圧延設備の一部改造から大幅改造へと方針を変更
⇒ 総投資予定金額は約255百万ドル（約382億円）に
（約25百万米ドル（約37億円）増加）

概要

- 設備投資 (1) 製鋼工場新設（Tenova社製）
(2) 既存圧延設備大幅改造（Pomini Long Rolling Mills社製）
※設計・エンジニアリングはTechint E&C社にて行う
- 生産能力：製鋼設備 30万トン/年
圧延設備 29万トン/年 ※メトリックトン
- 総投資額：約255百万米ドル（約382億円 150円/ドル換算）
- 生産品目：鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼
- 資金調達：自己資金、銀行借入等を組み合わせ、
最適な資金調達方法を検討

今後の予定

- 工事開始：2025年7月
- 稼働開始：2027年1月



Tenova社とPomini社との調印式の様子

参考：連結貸借対照表

■ 資産の部

	23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 12月末	増減
現金預金	577	576	476	▲ 101
売上債権	814	934	831	▲ 103
棚卸資産	675	650	689	39
その他	40	48	52	4
流動資産合計	2,106	2,209	2,048	▲ 161
有形固定資産	1,022	1,014	1,049	35
無形固定資産	40	38	34	▲ 3
投資その他	209	281	270	▲ 11
固定資産計	1,271	1,333	1,354	21
資産合計	3,377	3,542	3,402	▲ 140

■ 負債・純資産の部

(単位：億円)

	23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 12月末	増減
仕入債務	190	252	256	4
短期借入金	626	601	513	▲ 88
その他	181	226	182	▲ 44
流動負債合計	996	1,079	951	▲ 128
社債	100	100	100	0
長期借入金	270	226	194	▲ 32
その他	109	122	118	▲ 4
固定負債合計	479	449	413	▲ 36
負債合計	1,475	1,528	1,364	▲ 164
純資産の部				
自己資本	1,797	1,946	1,980	34
非支配株主持分	105	68	58	▲ 10
純資産の部合計	1,902	2,014	2,038	24
負債・純資産合計	3,377	3,542	3,402	▲ 140

■ 経営指標

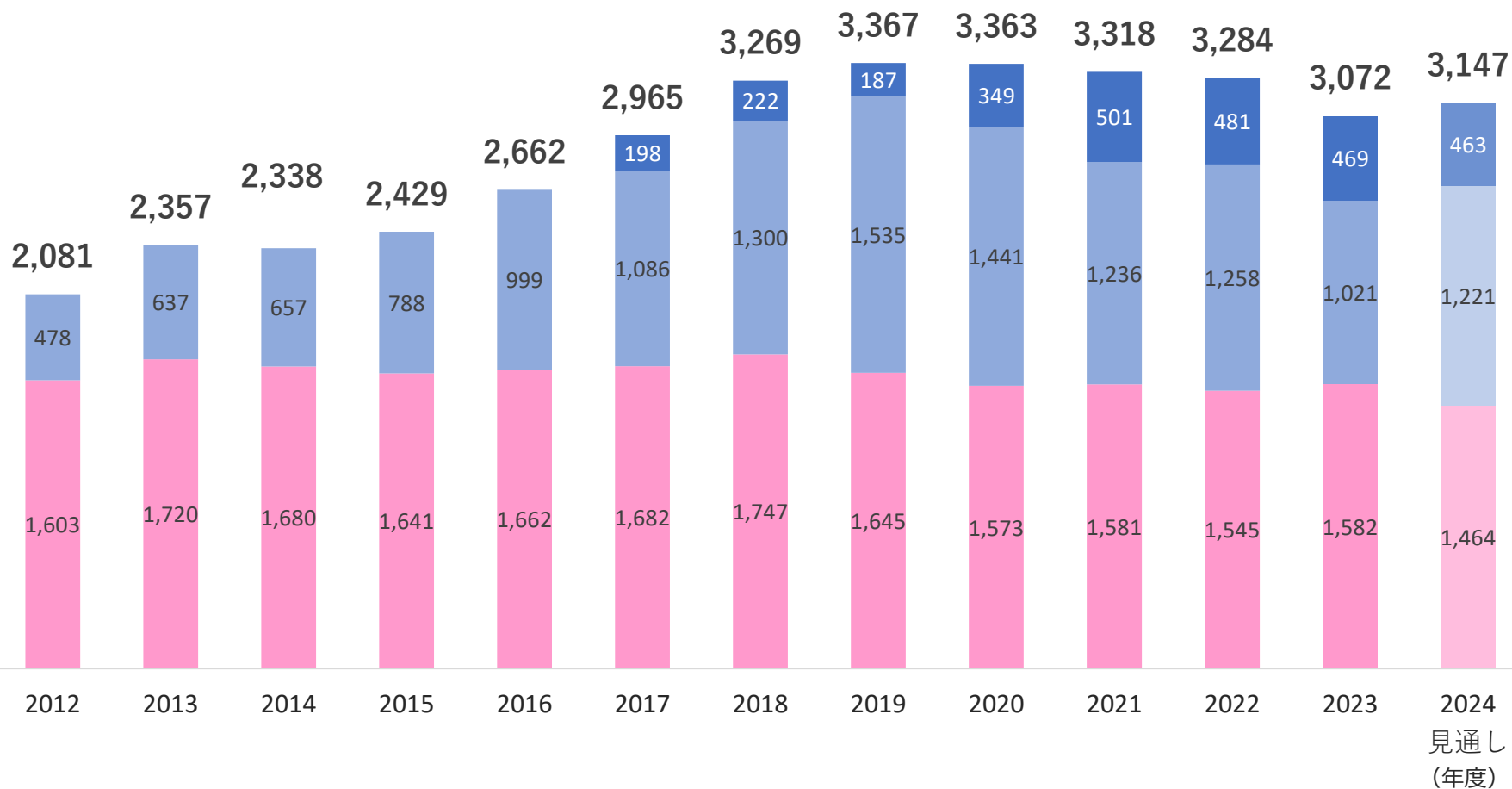
	23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 12月末	増減
自己資本比率	53.2%	54.9%	58.2%	3.3pt
ネットDEレシオ	0.23倍	0.18倍	0.17倍	▲0.01pt

参考：製品出荷量 推移（国内・海外）

ベトナム拠点の需要回復により出荷量が増加し、グループ全体で前年比増の見通し

■ 国内 ■ ベトナム ■ 北米

(千トン)



参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



共英マテリアル(株)
スクラップ集荷・加工



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ
環境リサイクル事業



関東事業所

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ節鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英加工販売(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



1 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：製鋼45万トン/年、
圧延30万トン/年



製鋼工場（ハイフォン）

2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：圧延30万トン/年



3 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）

生産能力：製鋼70万トン/年、圧延90万トン/年



4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：港湾事業



5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製造・販売

生産能力：9,000トン/年





1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

アルタ・スチール
（アルバータ州）

1

ビントン・スチール
（テキサス州）

2



2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年、
圧延20万トン/年（棒鋼）
鍛造 5万トン/年（鉄球）

設立年：1962年